



おぐら
尾倉

<校訓>
自主
創造
協力



令和4年8月26日(金)発行
校長 栗原博巳
北九州市八幡東区尾倉三丁目10番1号
HP: www.kita9.ed.jp/ogura-j/

<学校教育目標>

豊かな心を持ち、健やかでたくましく行動する生徒の育成～みんなで考え、みんなで取り組み、みんなでつくる尾倉中学校～

<目指す生徒像>

- ① 感性豊かで、意欲的、主体的に学習する生徒
 - ② 健康で明るく、思いやりのある生徒
 - ③ 礼儀正しく、奉仕の精神に満ちた生徒
- ◇ 元気のいい挨拶・礼儀・身なり・学習規律と集団生活における規律とマナー

ダニエル先生とのお別れ～ありがとうございました～

尾倉中学校で、2年間(日本での滞在は5年間)お世話になったダニエル先生がカナダに帰国することになりました。7月20日の全校集会の中でお別れをしました。はじめに、3年の高橋君が Farewell speech をし、その後、各学年の代表の生徒から花束と寄せ書きを贈りました。最後に、ダニエル先生からお別れの言葉をいただきました。ダニエル先生は本当に授業や生徒のみなさんが大好きで、「また日本に戻ってきます」と涙を流しながら話してくれました。ダニエル先生のおかげで英語の授業は楽しかったと思います。これからの先生の活躍を祈っています。

ダニエル先生は8月下旬にカナダに帰国します。ダニエル先生は、みなさんが、今まで以上に英語を勉強してくれることを願っています!(先生たちも職員室でお別れをしました)

生徒代表 3年 高橋くんの Farewell speech

First of all, thank you for teaching us English here at Ogura Junior High School.

For us, the third graders, looking back past three years, your classes were interesting and informative. When we were in trouble, you helped us a lot and encouraged us saying "OK!" Your explanation was very easy to understand. Thanks to you, Daniele, now we all love learning English.

During the rest time, some of us enjoyed talking about anime and games with you. I was impressed that you always try to understand us and Japanese culture.

You also joined other activities such as club activities, P.E. classes, sports day, school festival and so on.

We were happy to make wonderful memories with you. We will never forget you and the time we spent together. Please don't forget us. I wish you a good luck and have a nice and safe trip back to Canada. Thank you.

ダニエル先生のお別れのスピーチ(原文のままです)

2年間ありがとうございました。お世話になりました。

みなさんの前でご挨拶できなくて残念です。授業はとても楽しかったです。そして、先生方の支えに感謝しています。

今の世界の状況の中で、またいつ戻ってこれるか分かりませんが、いつか必ず戻ってきます。

今から、私の好きな「ゆず」の歌“友～旅立ちの時”の歌詞をみなさんに贈ります。

『私たちが見上げる空は どこまでも続き 輝いている 同じ空の下』

どこかで、私たちはつながっていると思います。

また、もし会えたら、お話ししてくれると嬉しいです。また会える日まで、お元気で。



ダニエル先生は、5年前にJETプログラムの一環で来日しました。JETプログラムとは、語学指導等を行う外国青年招致事業(The Japan Exchange and Teaching Programme)の略で、外国青年を招致して地方自治体等で任用し、外国語教育の充実と地域の国際交流の推進を図る事業です。JETプログラムは、外国語教育の充実と地域レベルの国際交流の進展を図ることを通し、日本と諸外国との相互理解の増進と日本の地域の国際化の推進を目的として、昭和62年度に開始されました。招致国は4ヵ国から57ヵ国に、参加者も848人から5,761人(2019年現在)へと、事業は大きく発展してきています。現在、45都道府県と18政令指定都市を含む約1,000の地方公共団体等(任用団体)が参加者を受け入れています。

